



青銅製刀のつば鑿作り体験

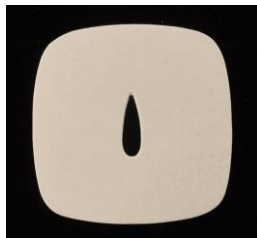
鑿は武士の象徴ともいえる刀の装具です。手を刃から守る役割を持つと同時に、様々な素材を使い、豊かな装飾が施された武家文化の一つとして発展しました。今回素材として使う青銅製の鑿は、古く古墳時代にまで歴史が遡ります。時代が下るに従い鉄製が多くなりますが、中世に至っても使われていた素材の一つです。

体験当日は、型紙を元に模様をデザインし、柔らかい素材の木材を彫刻刀などを使って削り鑿の原型を作ります。その原型で鑄型を作って鑄込みを行い（鑄込みは職員による）、紐をつけてキーホルダーに仕上げます。

青銅鑄造の技術を学ぶ他、武家文化と精神性にふれる場として、是非ご参加下さい。



型1 丸形



型2 角丸四角形

塩川遺跡出土
銅製 太刀鑿

作成した木型

完成イメージ
(丸形・ススキとトンボ)
職員作成

※希望の型に、桜・竹・日・月・トンボなど当時武士に好まれた絵柄や透かしを入れた、オリジナル作品を製作します。

- 日 時 令和2年9月5(土) 午前9時00分～午後4時00分
※終了した方から順次解散。
- 場 所 風土記の丘研修センター・実習室
- 募集定員 16歳以上の方・8名
- 参加費 2,000円(教材費・保険料:参加時にお支払いください。)
- 申込方法 参加を希望するご本人が電話または来館にてお申込みください。その際に、製作希望の型番を1か2からご指定下さい(抽選には影響しません)。
※参加は抽選になります。当落については、8月20日にご連絡致します。
- 申込期間 令和2年8月5日(水)～8月19日(水)
※定員に満たなかった場合は追加募集(先着順)を行います。
- 持ち物等 筆記用具、軍手、汚れてもよい服装、昼食、マスク、※当日は感染症対策として
ご自宅にて検温をしていただき、不安のある場合は参加をご遠慮ください。
- 申込先 風土記の丘研修センター
甲府市下向山町1271 電話055-266-5286
休館日:月曜日(8月10日は開館)

